

産官学連携による地域における食育推進の取組について ～学生主体による地元野菜を活用した総菜の開発・販売～

本市では、「健康はままつ 21」に基づき、市民の健康意識の向上と生活習慣病予防、健康寿命の延伸を目的に、食環境づくりを重要な施策として位置づけ、地域の関係機関と連携した実践的な食育の取組を進めています。

このたび本市は、学校法人常葉大学及びとぴあ浜松農業協同組合との連携により、健康に配慮した地元野菜の活用による総菜の開発・販売に取り組む産官学連携事業を下記のとおり実施します。

記

1 事業の概要

本事業は、本市が常葉大学と JA とぴあ浜松をつなぎ、企画段階から関与することで新たな地域食育モデルとしての連携が実現したものである。この取組は、同大学で栄養学を学ぶ学生※1が、学びから商品開発、販売までを一体的に体験し、若い世代を含めた市民の野菜摂取や食育の推進、地域農産物の魅力発信を図ることを目的とする。

商品開発については、とぴあ浜松農業協同組合主催の「ファーマーズローカールスクール 2025」のプログラムで実施する。

2 産官学連携の内容と役割

(1) 学校法人常葉大学

学生が主体となり、専門的知識に加え、若い世代の視点を取り入れ、地域農産物を用いた健康に配慮した総菜の商品開発から販売までを一体的に行う。

(2) とぴあ浜松農業協同組合

本市が実施する「はままつ 食 de 元気応援店事業」※2の認証店であり、地元農産物の提供、プログラム運営及び販売機会の創出を通じて、野菜摂取及び地産地消の推進に寄与する。

(3) 浜松市

管理栄養士の専門的視点から、食環境づくりを「健康はままつ 21」に基づく施策とし、事業全体の調整・推進を行う。

3 ファーマーズローカールスクール 2025 について

ファーマーズマーケット三方原店管内の特産物である「三方原大根」について、学生が生産背景や特性を学び、健康に配慮した商品開発及び販売を全8回のカリキュラムで行う。

講師 ・株式会社鳥善 ジオリエントタルテラス 総料理長 前川 智裕 氏

・株式会社マスターピース 代表取締役 新村 康二 氏

4 販売予定商品

- ・大根餅
- ・大根の煮物
- ・大根のかき揚げ



5 販売日時・場所

日時：令和8年1月10日（土）、11日（日） 午前9時～

場所：ファーマーズマーケット三方原店（浜松市中央区根洗町 1213-2）

6 お問い合わせ先

（1）本取組に関すること

- ・浜松市健康福祉部健康増進課
- ・電話：053-453-6125
- ・メール：kenko@city.hamamatsu.shizuoka.jp

（2）ファーマーズローカルスクール 2025、開発商品及び販売に関すること

- ・とぴあ浜松農業協同組合 地産地消課
- ・電話：053-476-3156
- ・メール：chisyou@topia.ja-shizuoka.or.jp

※1 同大学で栄養学を学ぶ学生

健康プロデュース学部健康栄養学科の学生サークル「トコハ Health Nutrition グループ（通称：トコへる）」（令和6年度より活動）

同世代や市民の食への興味・関心を高め、野菜摂取量増加や健康意識の向上を目的に、SNS を活用した啓発、保育園や学内における食育活動、市と協働による健康イベント啓発等に取り組んでいる。

※2 「はままつ 食 de 元気応援店事業」

スーパーマーケット、飲食店等で、栄養バランス、減塩、野菜摂取の健康に配慮した食事や惣菜、減塩商品等の販売を通じて、市と協働で食環境づくりを推進する事業。（平成30年9月より実施）

